

補

追

9・18全大阪統一行動をバクロする！

アナキスト高校生協会（大阪）

〔入管体制解体斗争の前に〕

闘うすべての高校生諸君！

本集會に結集した全ての日和見主義者諸君！

9・18斗争をになおうと決意しながら、5・31斗争の質を何一つ自覚し  
えていない右翼日和見主義者諸君！

9・18斗争はまずもって、少なくとも東淀川、清水谷、枚方三校を拠点にした、断固たる処分紛碎実力斗争として闘わなければならなかった。なぜならば、府教委通達の意を普遍化せんがための一たんとして（処分）と言う弾圧攻勢が目の前で開かれている。ゆえに処分白紙撤回を勝ち取っていくことによって、府教委通達を空洞化させていく闘いによって、変革者になりうるのだ。確かに部分的にはかかる方向性はあったといつてよい。だがしかし、それはきわめて不十分、根本的に在った政治主義的な物として限界をあらわにしている。今秋期、入管決戦をわめくセクト馬鹿は彼らの内実が入管斗争をなうはるか以前の地平に在ることに気付いていないのだ。これは、明確にこのこと自体において、在日アジア人民に対するうらぎり、反革命である。9・18斗争は5・31斗争が昨年、そして今年において提起した質を示しえない限りにおいて、きわめ

て無内容な八派の政治技術的なものでしかない。と言うことは、すでに分かりきったことではないのか。今年の5・31斗争がジブシーの体質からして、5・30に、セクト野合行として実現した日和見八派分子は、6月斗争のまっただ中において、文字通り崩壊しつくした。八派にいた、真に革命的な部分は、すでに八派に見切りをつけ、新たな質の斗争を追求しつつある。本集會のかおぶれをみよ。うら工作と甘言をもって政治動員されたこの日和見分子のこやかな顔、顔、顔をみてみよ！

この事態は、荒廢以外のなにものでもないではないか。おしゃべりとカンプニア行動が斗争であった時代が過去となったことに気が付かず、ただただ一部のナツメロ調幹部に引き回わされている。日和見分子のナツメロ大合唱集會。これこそが、本集會の唯一の内実ではないのか。原点斗争の断固たる展開とその深化を追求することなく、一体何の斗争があるというのだ。皮相な政治行動でもっては、もはや何一として、闘えないことは昨秋期斗争と今6月斗争で明確になっているのに、八派のセクトバカ、日和見分子はこのざまなのだ。もはや八派は、解体しつくさねばならない。アゲリを先頭とする反革命うら切り日和見主義者集団の断固たる解体をしつくす中において、我々は入管体制解体斗争Ⅱ反帝社会斗争をになうことのできる主体を創造していかなねばならない。自己の場における弾圧を、はねかえすだけの力量もないくせに、なにが、在日アジア人民防衛だ。ホラとデマはいいかげんにしなければならぬ。闘うすべての高校生諸君！ 本集會に結集した日和見主義者諸君！

まずもって、自己の学園における断固たる、帝国主義教育体系に対する斗争を貫徹せよ！ いっさいの処分を断固たる意志をもってはねのけよ！

この斗いにおいて、入管体制解体斗争の質を主体的に形成することから開始せよ！「自己の解放は自己の手で」この鉄則を不動に確立し、深化Ⅱ激化させる時、はじめて社会変革を民衆の手でもって切り開くことができるのだ。斗わずして敗北することを証明する9・18カンパニア行動ナンセンス！入管体制解体斗争の前に我々は、断固たる自己防衛斗争を貫徹せねばならないのだ。

斗うすべての高校生諸君！八派セクト政治とそれに追隨するノンセクトの根底的全面的解体を断固として今、ただちになしとげよ！時代は暗黒をつけている。いい気なバラ色の夢はセクトバカにくれてやれ！自己存在をかけた、反帝社会斗争の質を我々と共に、主体的に形成せよ！斗う全ての高校生諸君！アナキスト高校生協会に結集せよ！

(九・一八)

## 処分全面白紙撤回を貫徹せよ！

アナキスト高校生協会（枚方）

全校高中生諸君！

六〇時間にもおよぶ河内君のハンストに対して無期停学という処分が出たことは諸君もすでに承知のことと思う。まさしく彼が提起しようとした生徒一人一人が考える、ということをお自からの生活そのものをかけて校高生、いや全高校生に対して提起したのである。その自から考えなくてはならないということが、現在河内君への処分という形で明確に枚

高生につきつけられたのである。これは枚高生が学校にいるという、日常性そのものに対する学校管理者側からの攻撃であり、この処分白紙撤回斗争が真に斗われない場合は、いわゆる活動家の負けとか一個人の負けとかにはとどまらずに、全体が学校側Ⅱ権力に屈服しつくすということになるのである。まさしく、これは自からの持っているもの一切を（肉体的・精神的・物質的）同じ人間であるところの教師及び管理者に自からが無条件に引き渡してしまうということなのである。かかる重大な問題であるにもかかわらず、反戦高協のごとき、死ぬまでダメな奴らは何ひとつ事の本質がわかっていないのだ。であるが故に、彼らにはこの処分の本質（Ⅱ我々の生活の自由を、こととしいによっては、学校権力、密室職員会議の意向によって、ハク奪されるかも知れないという権力）をその低能さのゆえに理解できないのである。それゆえにセクトがごとき官僚が意のままに行動するという心売った奴隷どものバカさかげんにはあいた口も閉さがらない。このような低能な奴らに入管体制紛碎の意味がどうしてわかるう。我々は今、自己強化のための自己解体をつきつけられているのだということをお自覚せよ！

枚高全学友諸君！

9・18斗争を八派のセクト馬鹿は、全く内実のないカンパニア街頭行動でもって6月斗争で破産した己のミスボラシイ姿をインペイしようとしている。けれども斗うすべての学友諸君！9・18を斗うということは、すでに枚高において直面している処分撤回斗争を断固貫徹するということが以外ではないのだ。

斗うすべての学友諸君！

授業紛争の永続的展開をもって処分白紙撤回を勝ち取り、全学集会  
—全学ストライキの構築をもって、反動教師の追放と文部省—府教委通  
達の内実を空洞化し無力化せよ！

全ての学友諸君！

河内君のつきだした一点は、中味のない八派政治をうちやぶりつつも、  
依然として、反帝社会斗争の原点からの構築をおこたっていた我々に対  
する批判でもあったのだ。学友一人一人につきつけられた本質的で単純  
な点であるが故に、さけて通ることのできぬ点であるのだ。

諸君！

学園とはいったいなんであるのか、そして、授業とは？学問、教育とは？  
人間とは？

処分白紙撤回斗争は永続的に最後の勝利まで斗いぬこう！一切の斗争  
のかぎはこの斗争にかけられている。

★枚高全闘争の興廢はこの一戦にあり、全員敢闘せよ！ 9・18府教委  
通達紛争闘争し処分撤回斗争に起て！ これらの問題をクラス討論  
で深化し、全学に闘争体制を確立せよ！ (九・一八)

## 入管体制解体斗争を

### 反帝社会斗争の質で斗い抜け!!

アナキスト活動者会議 (神戸)  
アナキスト高校生協会 (神戸)

9・30集会に結集された全関西の戦斗的労働者・学生・高校生諸君！  
反帝社会斗争の質をもってセクト連合の本日のスケジュール斗争を乗り  
越えよ！ セクト—これら日和見・政治主義諸集団が一同に会して何に  
なろう。

諸君！ 考えてみるがよい！ 個別人間の存在が法律という網ですく  
いとられるというこの事態に、どうしてデモや集会で在日外人一人たり  
と防衛することができようか！ 実際、実力斗争という名をかりたデモ  
ンストレーションを斗い、入管を破壊したところで、退去令の出た外国  
人を防衛できるのか？本集会を免罪符とするなら、それは明白に裏切り  
というものだ。既成左翼とよばれる者共は、国会や県府議会などの「公  
会」内で追求すること、反対することを斗いとよび、日常生活の変革を  
斗うことを放棄し、人民の要求をダシにし、利用するだけの売奴であり  
話にならない。

しかし諸君！ 諸君がデモや集会を免罪符にしようとするなら、見た  
目はちがっても諸君らもまた既成左翼どもとその差わずか一ミリの日和  
見主義者なのである。

日常生活基盤をもって斗えない斗争がそのまま先行されるなら、自己

の生活・存在と生活原点を置き去りにし、ふみにじることによってしか闘いを展開できなくなるにちがいない。つまり、既成左翼とよばれる奴らのように自らの肉体を代償とするしか道はひらかれていないのである。これは形こそちがえ、まさに新左翼の短い歴史のうちにも見出されるのである。一昨日焼身自殺をとげた須磨高校生K君は早すぎる犠牲者である。スケジュール斗争にふりまわされ、日常性に立脚しないが故にまねいた悪循環は今やマンネリズムとなっている。それらを許容していたわれわれの日和見こそK君の死をまねいたのである。まさにパルタイ主義者もくろみ、われわれの手で作ってきた新左翼公害である。これこそK君はこの狂った論理の中で自己矛盾と闘い、その苦闘に対して自からの存在を消滅させること、すなわち死でつくなおうとしたのである。われわれはこの犠牲を決してわすれてはなるまい。われわれは今まさに、既成の論理に呪縛されているかぎり、自らの存在を防衛すること自体の困難さを彼の死によってたたきつけられたのである。

諸君！ われわれは原点斗争を闘うことによってしか自己をも、ましてや他の誰をも防衛などできない。入管解体斗争を真に反帝社会斗争の質で闘うならば民族防衛などという、排外主義をうらがえした俗物的な優越意識をのりこえ、革命斗争として闘いぬかれるであろう。

★反帝・反権力・絶対自由・無政府共産！

★原点斗争を主体とした反帝社会斗争の創出によって入管体制を解体

せしめよ！

(九・三〇)

## 原点斗争と地区的共同斗争を結合し

### 高校生運動の自立と飛躍を獲得せよ！！

アナキスト高校生協会（関西）

11・7全関西八派高校生政治集會に結集したすべての学友諸君！

八派政治を支持し政治斗争至上主義に身をゆだねているすべての学友諸君！ この集會はいったい何のために開かれたのか？ 諸々の政治スローガン「入管法再上程阻止」「在日アジア被抑圧民族を断固防衛せよ」

等々はどういうことなのか？ 「防衛」するといった本人自身が、自分自身の運動を現実には防衛することができているのか。この願望主義的発想これを厚顔無恥というのだ。現在、大学における全共斗運動が、権力の前に運動の内部矛盾（党派主義と自立主義等の対立）を克服せずして、怒濤のごとく後退を強いられ、学内存在すら極めて困難な状況におちいつている。闘う労働者反戦派においても同様に、いやもっと深刻に首を切られることによって明日からの生活を確保できない状況にまで、順次立たされつつある。そして、わが高校生運動においても、退学処分・停学処分をうけた学友を、断固として防衛すべき白紙撤回斗争が真に勝利したことは、ただの一回もなかったし、今でもないのである。このように自分自身をすら防衛しえていないという低水準にある高校生運動を、いかにして真に強固なものへと形成していくのかといったことを一切語らずして、しかもなお「防衛してやる」などという空文句をガナルことは、明確にかかる主体が入管斗争を政治課題的斗争へとわい小化してい

ること、すなわちかかる発想主体の運動における反革命的腐敗を示すもの以外ではない。

本日の集會に結集したすべての学友諸君！

かかる退路路線に従属した本集會の意義とは一体何か？集會の意義をただの一つでも見出し出すことのできる者は、まさしく民青なみのオメデタキ者である。八派プラスベ平連というこのな一つ内実のない空洞化した統一行動が明らかに、ポンコツ集會としてしかイメージしないのはけだし当然のことである。大衆自身の根底からの自立的な思想と行動を運動として組織化しえないが故に、党派の指導（統制）下における斗争をしか認めえない、極めてわい小な運動として、まさにかかる内実の表出として、本日の集會そのものはそのオオゲサな、一つとして勝利的に斗いえない諸々の政治スローガンを願望的にならべたて、その背後にあるミミッチイ権力意志だけは人一倍持ったところの頭のカラッポなテレコの政治至上主義者を主役とした、文字通りの三文喜劇ではない。まさしくセクトのいうところの大衆運動とは、大衆をデマゴギーでかこいこみ、そのセクトに服従・屈服させ、ロボット化し、大衆のもっている根源的にしてかつ自立的自発的な志向性を、従属と無関心においやるものでしかない。権力をとろうとする者は、その権力性をおびやかす一切のものを、たとえそれが正当なるものであっても、紛碎せざるをえないし当人たちもそのことを理解し、それを権力を奪い取るためには過渡的にしかたがないと弁解している。我々に必要なことは、防衛する等といった思い上がった意識ではなく、自分自身の存在根拠・生活原点・日常生活内部における入管体制そのものの解体工作を着実に展開していくため

に、又自己変革の革命主体形成のために、自由な思想の交換そして、その目的意識性に基ずいて現実の中に大衆運動のダイナミック性をひきだすことのできるような、大衆運動のそれ自体としての組織運動構造を形成していくということである。入管斗争の現段階において一切の自称前衛セクトは先進的労働者大衆組織（五地区反戦共斗）の後衛部隊ではあってもそれ以上ではなく、現にある10・8東大阪市役所占拠斗争をみてもよくわかるだろう。とりわけ中核派にいたっては事前に連絡をうけながら、ただの一人も斗争に投入できなかったのだ。ズブズブカンパニア主義中核派は底なしの右翼化を進行させることによってしか、今日デモ専門部隊を維持できなくなっているのだ。朝鮮籍への書き換え妨害に対する紛碎斗争の対行政斗争も又一つの戦術ではあるが根本的には、国籍の問題としてではなく、一人一人の保持している差別意識そのものの解体が、従って又日常生活次元における不断の右翼との対決紛碎が、我々の斗争の真の課題である。入管斗争を個別政治課題として把握する者は、エセ国際主義者である。かかる発想では勿論勝利的展望はゼロである。マルクス主義者の政治過程論的運動構造では、すべての政治課題を一つとして勝利的に斗いえない。入管斗争の大衆化は、昨秋期斗争にひきつづいて再び八派の虚妄性をものみごとにバクロしているのである。ポンコツ八派集會への批判的視点を形成しつつあるすべての

先進的学友諸君！

高校生運動の決定的要因、すなわち学園における高校生活動者の任務といったものは、高校解体をめざした自治管理斗争を命題とする諸々の運動、大衆運動でなければならぬ。それは69年5・31斗争以降、常に

我々の口にしてきたことであつた。そのことは10・31文部省見解、学園における処分等の権力の攻勢に對してますます必要となつてきた。たとへば今年の10・31、この基本にそつて斗いぬいてきた高校もあつた。たとえそれがどのように不十分なものであつたとしても、個別原点における大衆運動の起点としてそれが位置づけられるなら、それは必ずや権力に恐怖を与えるであろう。権力は横からの八派の運動との対決よりも、下部構造における大衆の叛乱を圧倒的に恐れる。この大衆の叛乱ということは、自分自身の生活基盤における斗争の確立であり、發展である。

今日の11・7集会は何らその意図を持たないし持つてやうがない。単にスケジュール斗争のミニチュア版なのであつて11・11集会へ向けての前段的街頭カンパニアにしかすぎない代物である。そこに大衆的斗争はない。真に革命的な斗争はさらさらしない。

斗うすべての高校生諸君！

八派政治を粉碎し解体しつくすことは、高校生運動の自立的な革命化への必要條件である。集会和デモという政治過程論的發想の破産は昨秋期斗争において明白になつたところのものであつて、今日これをよみがえらせることは単なる後退にとどまらず、明らかに一切の新左翼プチブル諸セクトの無展望を、その勇壮な言葉とはウラハラに宣言するものである。

8派解体を志向するすべての斗う高校生諸君！

狂気にいたるまでの原点斗争への固執を堅持し、学園斗争の質的転換を目的意識的な組織運動構造として形成せよ！ かかる任務の内容として地区的共同斗争を、断固たる課題別地区共斗の実体的にない手として各

高共斗を質的に再編せよ！ 原点斗争を頂点とした高校生独自の組織運動構造を地区高共斗として確立せよ！

我々の目前にバラ色の夢はない。断固たる高校生運動の自立と飛躍か、それとも解体霧消か。まさしくこの壁を突破するよりも数十倍も困難である。この根本的な困難を回避しカンパニア統一行動へと逃げてゐる八派プラスベ平連を解体し、高校生運動の新地平を切拓くことができなければならぬ。それはとりわけ本集会に結集したすべての日和見主義者諸君の課題である。

すべての斗う高校生諸君！

原点での敗北は全面的敗北を保証している。原点での勝利を！ 勝利できるまでの持続的戦闘性を！ 学校と対決し、学族と対決し、地域社会と対決しそして友人と対決せよ！ ごまかしや逃げ込みのできる時代は終つたのだ。明日の地獄をよびこまないために、今日のささやかな苦痛をえらばうではないか。斗うすべての高校生は高共斗運動の革命的再生を合言葉に、不断の自己変革を現実性として形成せしめよ！

アナキスト高校生協会(AHA)は、断固として諸君の後衛を認ずる。従つてわが後衛以上に後退する弱小諸セクト腐敗分子の存在を許さない。断固として本集会の右翼日和見主義諸セクトを解体しつくす。これは我に課された我々のみが実現しうる任務である。かくれた同志諸君のわが戦線への合流を！ 共に前進しよう！

★反帝国主義 ★反マルクス主義 ★無政府共産

☆八派解体！

(十一・七)

## 6・28ダイキン

### 軍需生産阻止斗争に決起せよ!!

茨工全共斗

東淀川反戦の欺瞞的斗争を糾弾し、原点斗争と地域斗争の結合を持ってダイキン軍需生産を阻止せよ。

#### △東淀川反戦の欺瞞的斗争を糾弾する▽

東淀川反戦は、いわゆるダイキン工業労働者の存在しない日曜日に斗争を組み、それがなんら、ダイキン労働者に対しても地域住民に対しても何の意味も持たないものである。

ダイキン工業に対する攻撃行動△直接行動としての武力攻撃▽として提起し、ダイキン工業の生産をストップ△機械等の総破壊▽させるべく行動を起すならまだしも、街頭宣伝行動とその攻撃行動とを混同したデモンストレーションの中に自己満足を感じている。この運動の質は、まさしく下方ベクトルとしての歴史的事実として個々の中において自覚したものであった。

そうした状況下においても、自己満足を感じる活動家の寄せ集めの中で、それは地域大衆に対してもダイキン原点労働者に対しても我々の斗争の質をインパクトできるものではない。

地域社会斗争をなおざりにし、政治斗争を頂点とする東淀川反戦の自己満足のためのデモンストレーションでしかないのである。彼らのそういった思想と行動の離反した斗争の質が日和見的斗争となつて、今日こ

のダイキン軍需生産阻止という質のないただのデモンストレーションという活動家のピクニックになつてしまった。

#### △個別原点斗争と地区斗争の結合から

##### 反帝社会斗争・総叛乱を創出せよ▽

安保、ブルジョア教育等々に見られるブルジョア社会体制は、その体制を急激に帝国主義社会体制へと変ぼうしつある。頂点に軍需生産・軍事基地そして帝国主義的教育等々がある。この帝国主義的社会体制の中に共産主義・社会主義の斗争をも組みこまれつつある今日、唯一我々の斗いのみが反帝社会斗争を視つめている。

反帝社会斗争が、消費原点と生産原点における斗いの二重の結合から創出されるものである。ダイキン軍需生産阻止斗争とは、まさしく地区住民△消費原点とダイキン労働者△生産原点この二つの結合によってダイキン工業の軍需生産阻止斗争の具現化があるのである。つまり地区住民△消費原点の斗いが自己の日常生活の防衛のためにダイキン軍需生産に反対し阻止の斗いを組む、それは生活防衛の斗いであり、諸要求貫徹と同質である。そして要求斗争の止揚と反帝社会斗争への高揚を創出しなければならぬ質を持ちながらそれを回避している。

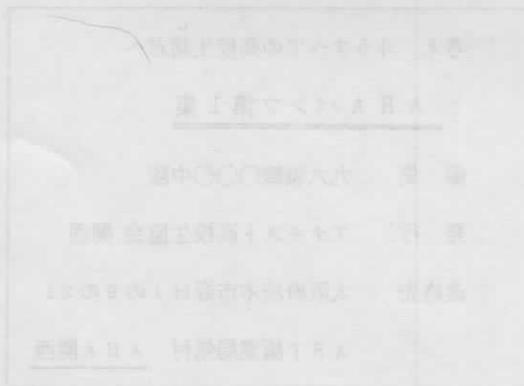
我々は、諸セクト・地区反戦の欺瞞高スケジュール斗争を乗りこえる必要を訴える。それはただ単なる地区住民へのスケジュール的街頭行動の質でははたしえないのである。つまり地区住民の斗いとして日常生活の中からの叛乱は、土一揆、そしてあの米騒動に見ることができるのである。大正期における米騒動はその前近代における例として見るこ

できる。そのおいつめられた生活苦の中からの叛乱は四〇日間全国的拡  
りを見せた。そういった日常生活の根底からの叛乱こそ必要でありダイ  
キン工業への攻撃行動となりえるのである。

一方、ダイキン工業労働者の自覚と叛乱である。就労拒否である。ま  
さしくダイキン工業の労働者が帝國主義社会体制の一環であり、軍需生  
産にたずさわる労働者のトリデでもある。我々の闘いが個別原点におけ  
るダイキン工業の軍需生産という生産原点のバクロ批判による労働者意  
識の自覚と高揚へと向うのである。その労働者意識の高揚が個別原点で  
の叛乱を創出し、住民の叛乱との結合によって反帝社会斗争の地平は切  
り開かれるのである。

(六・二八)

——本アピールは茨工全共斗の好意により入手したが、我  
はこれに全面的な共感を有したので、ここに了解を得て再録するもの  
である。



である。

案はつれも全面に押し進められ、ついに下層の階層を破壊するまで

本アナーキスト同盟の組織がより入りこむ。

展開されるのである。

(六・二八)

考え 闘うすべての高校生諸君へ

A H A パンプ第 1 集

編 集 九六戦線〇〇〇中隊

発 行 アナキスト高校生協会 関西

連絡先 大阪府茨木市春日 1 の 9 の 21

A R F 編集局気付 A H A 関西